

(2)林業人材

プロジェクト

林業の新たな担い手確保・育成

目標

・年間新規就業者 H29～R3平均：90人 → R10：110人

挑戦する内容

- ・青い森林業アカデミーの継続的な運営
- ・学生等を対象とした林業出前講座や仕事体験会等による魅力発信
- ・建設業や造園業、製材業者など他業種からの参入促進
- ・「林業バンチャー」※の育成

※林業バンチャー：
苗木づくりや造林・育林、伐採、
コンサルなどを小規模かつマルチ
に行う事業者

関係者の声
＝対話

- ・労働力不足で新規雇用したいが確保が難しい（林業事業者）
- ・原木の安定入手のため、森林取得を進めており、自ら森林整備に取り組みたい（製材業者）
- ・雇用者確保のためには他産業並みの労働条件や賃金水準が必須、林業は人目に付きづらく仕事内容がイメージできないため就職先の選択肢に入りにくい（林業労働力確保支援センター）

役割分担

- ・森林組合、林業事業者：雇用環境の改善、経営基盤の強化
- ・県、労確センター：アカデミー運営、普及啓発、就業支援

変革後の姿

- ・若年就業者のほか、林業バンチャー等多様な担い手が確保

令和6年度計画

挑戦する内容

- 1 青い森林業アカデミーの継続的な運営
 - ・将来的に林業事業者等の中核となり得る現場技術者を養成するため、森林・林業に関する知識や技術を習得させるための研修「青い森林業アカデミー」を実施
- 2 学生等を対象とした林業出前講座や仕事体験会等による魅力発信
 - ・高校生等を対象に、林業の仕事に関する講義のほか、チェーンソーや高性能林業機械の操作体験を実施
- 3 林業バンチャーの育成
 - ・育成研修会の開催に向け林業への新規参入者の実態を把握するほか、県外の林業バンチャーを講師に招請したフォーラムを開催



青い森林業アカデミー



林業出前講座

対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（8月、1月）
- ・青い森林業アカデミー運営協議会で有識者や林業関係団体等と研修運営、労働力確保について意見交換を実施し、アカデミーの運営に反映（11月、2月）
- ・仕事体験においてアンケート調査を実施し、体験内容に反映（9～11月）
- ・林業バンチャー等を訪問し、新規参入に必要な知識や技術について意見交換を実施し、事業構築に反映（6月～）



林業バンチャーの育成